

Title	理工学Information
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	
Jtitle	新版 窮理図解 No.28 (2018. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000028-0009

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ありの儘の物をありの儘に見過ごして少しも心に留めざるは馬にも等し

野崎 貴裕

この冊子の名前の「窮理図解」の正式名称は『訓蒙 窮理圖解』と言うそうです。これは福澤諭吉先生が明治元年に出版した日本初の科学読み物で、上のタイトルはその中の文章の一部です。窮理とは今でいうところの物理に当たる言葉であり、訓蒙は子供や初心者に教え諭すという意味です。

一生を学問や研究に捧げられた先生方からすれば、どちらかという私自身もまだ初心者に近い立場の人間ですので、あまり偉そうなことは言えません。

ただ、学生の皆さんに対して何か一つだけお伝えするとすれば、それは「全力で生きてほしい」ということです。

パワーエレクトロニクスは、電力を変換したり、伝えたりする学問です。そして、その電力によって電動機を回転させ、上手く制御し、さらに外部環境に対して作用をさせることで現実世界を変えていくことができます。当然、何もしなければ何も変わりません。

人生も同じことなのだと思います。パワフルに元気よく頑張つて、ひた向きに学んだり研究をしたりすれば、少しずつかもしれませんが現実世界を変えていけるのだと思います。何も考えず、何もせず、ただボーッと過ごしていたのでは何も変わりません。極論かもしれませんが

が、何も変わらないのであれば、それって生きていないのと大差ないのかもしれない。

ちなみにですが、私の研究室の方針は「大学に思い出を！世界に足跡を！」です。思いっきり楽しみ、思いっきり生きた証を残し、学生たちには全力で大学生活や研究室生活を満喫してもらいたいと心から願っています。皆さんのパワーこそが世の中を変える源だと確信しています。自我作古*の気概をもって、ともに世界を変えていきましょう。大学に思い出を！世界に足跡を！

*じがさつこ：われよりいにしえをなす。「前例にとらわれず、常識、手本になるようなことを自分で作り出す」というような意味。これも福澤諭吉の言葉で、慶應義塾の草創期に塾生たちが、西洋文明をいち早く取り入れて日本の近代化に貢献しようとした気概を示した言葉。「独立自尊」とともに建学の精神をなす考え方。

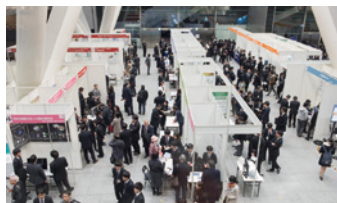
理工学 Information

KEIO TECHNO-MALL 2018 第19回 慶應科学技術展 「beyond imagination ~ススム未来へ」

KEIO TECHNO-MALL(慶應科学技術展)は、慶應義塾大学理工学部・理工学研究科の研究成果を広く発信し、共同研究や技術移転など、産官学連携のきっかけとなる出会いの場を提供するイベントです。大学最大規模の

100件を超える実演中心の展示、研究者によるショートプレゼンテーション・ラウンドテーブルセッションなどを実施し、毎年、企業や官公庁、他大学などから、多数ご来場いただいています。

日時：2018年12月14日(金) 10:00～18:00
 場所：東京国際フォーラム地下2階(ホールE2)
 内容：実物・実演重視の展示と魅力的な企画を予定
 入場無料 ※すべてのイベントで事前登録不要です。
 詳細：www.kll.keio.ac.jp/ktm/



〈スペシャルインタビュー、トークイベント(予定)〉

1. スペシャルインタビュー

ゲスト：福澤克雄氏 (TBS テレビ制作局 ドラマ制作部 ドラマ・映画監督)

2. ラウンドテーブルセッションI

ゲスト：石川繁樹氏 (日本アイ・ピー・エム株式会社 研究開発・アカデミック・アドボケート 担当)
 森正弥氏 (楽天株式会社 執行役員 兼 楽天技術研究所 代表 兼 楽天生命技術ラボ所長)
 清水亮氏 (ギリア株式会社 代表取締役社長)

3. ラウンドテーブルセッションII

ゲスト：篠原弘道氏 (日本電信電話株式会社 取締役会長)
 中村知美氏 (株式会社SUBARU 代表取締役社長)

編集後記

本誌の発行も今年で10年目を迎えました。10年目の第1号は、10年前はまだ大学生だった野崎専任講師の登場です。小さい頃は先生が嫌いだったという野崎専任講師。教員になったことは「予想外だった」と話をされていましたが、研究室では多くの学生から声をかけられ、教員の顔をしていました。当初1人の学生から先生についてのインタビューをする予定でしたが、最終的には10人弱の学生から話を聞くことができ、どの学生からも先生が慕われている様子を垣間見ることができました。(萩原いづみ)

新版 窮理図解



No.28 2018 October

編集 新版窮理図解編集委員会
 写真 邑口京一郎
 デザイン 八十島博明、石川幸彦 (GRID)
 編集協力 サイテック・コミュニケーションズ
 発行者 伊藤公平
 発行 慶應義塾大学理工学部
 〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
 問い合わせ先 (新版窮理図解全般)
 kyurizukai@info.keio.ac.jp
 問い合わせ先 (産学連携)
 kll-liaison@adst.keio.ac.jp

web版
<https://www.st.keio.ac.jp/education/kyurizukai/>
 facebook
<https://www.facebook.com/keiokyuri>